Weekly Paper ◆ Suisan Shinbun
週刊水産新聞
平成20年（2008年） 5月26日
第507号 毎週月曜日発行
発行所／株式会社 水産新聞社
〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目9番地1 エコネットビル5階
電話(011)210-5073 FAX(011)210-0947
（平成10年2月25日第三種郵便物認可）
URL：http://www.suisan.jp/ E-mail:sapporo@suisan-np.co.jp

プレート氷。奥に800キロのブロック氷

雪氷

魚箱レンタルなどで水産業界をサポートする㈱北海道ニーズ（羅臼町、津山雅樹社長）が羅臼町幌萌に建設していた２千トン規模の大型貯氷施設が、このほど落成した。また根室市花咲にも３千トン級の同様施設が６月末完成予定だ。羅臼と根室に３カ所ある既存施設とともに氷の供給態勢を強化する。昨年は年間1.7万トン超の供給実績だったが、今期はさらに５千トンの増産を目指す。

（18面に関係記事）

大型貯氷施設 整備着々進む

根室管内

北海道ニーズ、水産業界サポート

地元の氷不足に対応

年5000トン増産、2.2万トン態勢へ

サンマ漁期に朗報

羅臼町に完成した大型貯氷施設は旧倉庫を利用したもので、施設面積は759平方メートル。一方、根室市花咲に来月末に完成予定の大型貯氷施設は旧ミール工場の廃屋を改修。施設面積は1320平方メートル。いずれも井戸冷機工業㈱（北見市）に一括発注、消費電力の低い冷蔵システムを導入する。

根室市水産課は新施設について「市内では過去5年平均で氷の需要は約5万3千トン、このうち34%を移入氷に頼ってきた。とくにサンマ漁期には氷が不足しがちで待ち望んでいた施設だ。また環境整備や地元の雇用促進といった効果も期待できる」と歓迎する。

こうした積極的な設備増強の目的はコールド事業の一環として氷の必要量を地元でタイムリーかつ安価に提供可能なデリバリー態勢を築くことだ。

根室市花咲にはすでに製氷・貯氷施設（日産60トン、庫腹300トン）を保有。また羅臼にも既存の製氷・貯氷施設（日産60トン、庫腹500トン）がある。

羅臼の貯氷庫はマイナス25度帯まで冷凍可能。このため凍結庫としての機能を活かしプラスチックタンクにプレート氷を詰め、さらに水をかけて凍結させ800キロの巨大「ブロック氷」に仕上げ保管。需要期に向け準備を着々と進めている。

需要が供給能力を上回った緊急事態にはこのブロック氷を特製のクラッシャーで砕氷してデリバリーする万全の備えだ。

一方、海洋深層水を使ったドライ状の「雪氷」をつくる製氷施設（日産20トン）も注目される。直径が0・25～0・5ミリと微細な球状の氷で海水と混ぜればシャーベット状の「スラリー氷」ができる。溶けにくく魚体を優しく包み込むように覆うので地元加工業者らが鮮魚の鮮度保持に使う。

落成した羅臼の大型貯氷施設。氷が不足しがちなサンマ盛漁期に対応する

貯氷庫はマイナス25度まで冷凍が可能。800キロのブロック氷に仕上げ保管する

井戸冷機工業が受注 / 省エネシステム /800キロ「ブロック氷」保管

こうしたコールド事業に魚箱や保冷用タンクのレンタル事業とリンクさせれば相乗効果によって必然的にそれぞれの商品力がアップする。同社の狙い通り陸上輸送や保管といった産地流通分野をサポートするビジネスモデルを構築。今後、このビジネスモデルをサンマの主要基地、厚岸や釧路などにも拡大させる方針だ。

ビジネスモデル 金融業界も支援

同社のビジネスモデルに金融業界も熱い視線を送る。今年1月、機能性の高い製氷技術が評価され「しんきん地域投資ファンド」を運用する北海道ベンチャーキャピタル（VC）から釧根地区では初めての出資を受けた。

昨年には北洋銀行の出資も加わり、資本金は現在1億2137万5千円に達している。

レンタル魚箱をロシア船が使用

ロシア側漁船は昨年から同社のレンタル魚箱「HRC」を使い始めた。主に北方海域で水揚げしたカレイ類を対日輸出する際に使う。衛生面から木箱の使用が禁止されたためで、現在、2社が契約。ロシア側にもプラスチック魚箱を供給する企業があるようだが、日本側に陸揚げした後の魚箱回収が困難なため同社との契約が優位に立つ。

お問い合わせ先
株式会社 北海道ニーズ
本社 目梨郡羅臼町知昭町429番地
TEL(0153)88-1147 FAX(0153)88-1104
根室支店 北海道根室市花咲港374番地17
TEL(0153)25-4100 FAX(0153)25-3588
出資企業一覧
根室スチレン株式会社
トーホー工業株式会社
三甲株式会社
岐阜プラスチック工業株式会社
株式会社北洋銀行
北海道ベンチャーキャピタル
その他

紙面
❷生協役員が稚貝放流体験
❹稚内ナマコ高値続く
❻サケ内臓から魚醤油
❽宮城ホタテ新貝本格化
⓰オホーツクホタテ開幕
⓱20年度コンブ生産見込み

東京・東北支社：TEL(046)298－3020 北見支局：TEL(0157)22－3451
東北・北陸支局：TEL(025)381－7338 釧路支局：TEL(0154)41－4286